—	1丁举宫等	専門学校	開講年度 令和02年度 (2		授業科目 生産工学演習					
科目基礎		- 11 171X		2020年度)		工注工丁煐日				
科目番号	VII JIK	0001		科目区分	専門 / 必修					
授業形態		演習		単位の種別と単位						
開設学科		生産工学	· • 再攻	対象学年	専1					
開設期		通年		週時間数	2	2				
教科書/教	材			•	1					
担当教員		村上 明								
到達目標	 票									
ルーブリ	 Jック									
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベ		未到達レベルの目安				
評価項目1			必要な文献を充分に収集できる 必要な文献を		 できる	必要な文献を収集できない				
評価項目2			英語の専門書・雑誌の内容を理解	英語の専門書・雑	誌の内容を理解	英語の専門書・雑誌の内容を理解				
	<u>=</u>		できるがある程度できる。			できない				
評価項目3	3		科学技術論文の英語の表現形式お よび科学技術の専門用語を読み取 ることができる	科学技術論文の英 よび科学技術の専 ることがある程度	専門用語を読み取 │よび科学技術の専門用語を読み取					
学科の至	到達目標項	頁目との関	月 係							
教育方法	 去等									
概要		生産工学 向を総括 た,要終 を修得す	よび物質化学工学に関連する外国語文献を熟読して要約し,各分野での技術発展の歴史および最新の技術動で、 で、特別研究でのテーマの設定および将来技術者として技術開発を担うための文献調査能力を養成する。また結果を発表することによりプレゼンテーション能力を養う。さらに,自分の研究成果を公表する際の手法。							
授業の進め	め方・方法									
		文献の熟 , 関連す	!読にあたっては,専門用語を正確に理 「る文献(書籍・論文や資料)を調査・	解し、日本語及びタ 収集して一緒に読み	ト国語で覚えること Hながら,その文献	と。また,その文献だけではなくて 状の内容の位置付けを把握するとよ				
注意点		しい。								
, 工 ,应,术		指導教	対員および2名以上(注:副指導教員で	ある必要はない)の	の合計 3 名以上の	教員が評価する。 評価基準は,文献				
		調査能力	125%, 論文読解力25%, プレゼンテー 音導教員 60%, 2 名以上の教員 40%の	-ション能力 25%,)重みをつけて行う。	質疑応答対処能力 総合成績60占以	725%の計 100%とする。 総合評 ! トを単位修得とする。				
授業計画	 li	μμ(ιοι) 31		<u>, </u>	, and source own.	(I C III) N C U				
·~~	Ī	週	授業内容	li	 週ごとの到達目標					
	1stQ					ョに関連したキーワードを認識し				
		1週	文献調査(前期)	1,	, それに基づき既存 て調査・収集する。	住の文献をインターネット等を用い				
		2週	II .		II					
		3週	"		II .					
		4週	ıı .		ıı .					
		5週	文献内容の理解 1 (前期)	1.0	収集した文献を熟読し,指導教員との読み合わせを通 して,文献で記述された理論,実験方法,結果等を理 解できる。					
		6週	"		<u>н СС 0°</u> П					
		7週	"		"					
前期		8週	"		11					
		9週	II.		II.					
		10週	"		п					
		11週	11		<i>II</i>					
		12週	П		II					
	2ndQ	13週	п		II .					
		14週	II .		11					
		15週	発表会(前期)	Į.	発表会において、調査した文献の内容をプレゼンテーションすることができる。教員からの質問・意見に答えることができる。					
	<u> </u>	16週								
		1週								
		2週	II .							
		2週 3週	п п							
	3rdQ	3週	II .	1	収集した文献を熟 して,文献で記述: 解できる。	読し,指導教員との読み合わせを通 された理論,実験方法,結果等を理				
後期	3rdQ	3週 4週	п п	Į.	収集した文献を熟 して,文献で記述。 解できる。 "	読し,指導教員との読み合わせを通 された理論,実験方法,結果等を理				
後期	3rdQ	3週 4週 5週	# 文献内容の理解 2 (後期)		解できる。	読し,指導教員との読み合わせを通 された理論,実験方法,結果等を理				
後期	3rdQ	3週 4週 5週 6週	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	ļ.	解できる。 ″	読し,指導教員との読み合わせを通 された理論,実験方法,結果等を理				
後期	3rdQ	3週 4週 5週 6週 7週	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	ļ,	解できる。 " "	読し,指導教員との読み合わせを通された理論,実験方法,結果等を理				
後期		3週 4週 5週 6週 7週 8週	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	, ,	解できる。 " " "	読し,指導教員との読み合わせを通された理論,実験方法,結果等を理				
後期	3rdQ 4thQ	3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	, j	解できる。 " " " "	読し,指導教員との読み合わせを通された理論,実験方法,結果等を理				

		13週	<i>II</i>			II .							
		14週	11			11							
		15週	発表会(後期)			発表会において, ii ションすることがで えることができる。	周査した文 できる。教	献の内容を 員からの質	プレゼンテー 問・意見に答				
		16週											
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標													
分類 分野		学習内容 学習内容の到達目標					到達レベル 授業週						
評価割合													
	試懸		発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合	i †				
総合評価割合	0		0	0	0	0	0	0					
基礎的能力 0			0	0	0	0	0	0					
専門的能力 0			0	0	0	0	0	0					
分野横断的能力	カ 0		0	0	0	0	0	0					